

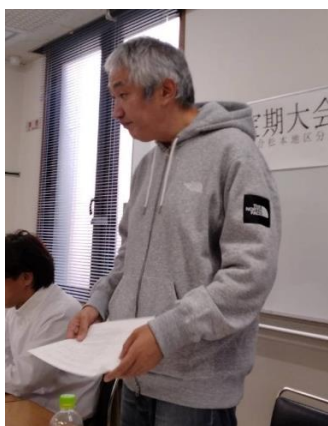
松本地区分会情報

発行者 武田俊昭
編集 情宣部

第12回分会大会 開催

JR東日本労働組合松本地区分会は10月18日(水)、松本市「駅前会館」において「第12回分会大会」を開催し、今年度の総括と向こう一年の運動方針を満場一致で確認しました。

松本地区分会 武田執行委員長あいさつ



- 一年間の分会の取り組みに感謝申し上げる。分会として6月に久しぶりにレクも開催できた。様々な取り組みの中で楽しい場面も必要である。
- 地本で10月に2名の組織拡大があった。少しずつだが組織として前進している。しかし数の力ではまだまだである。東日本ユニオンへの加入を松本地区分会からも進めて行く。
- 年末手当の取り組みについて、東日本ユニオンは3.5ヶ月要求を出した。会社収入が8~9割戻ってきている。現場でもお客さまが増え、様々な苦労がありその事で成り立っている。満額獲得に向け現場から多くの声を集め本部交渉団を支える取り組みを行っていく。
- 営業統括センター発足から1年が経過した。冬季・兼駅・企画業務等どうであったか、また豊科や下諏訪の勤務形態や機器類の変更など検証が必要である。働く側が苦労する施策ではいけない。問題点をしっかりと検証し、本体・エルダー共に働きやすい環境を労働組合として創っていく。と述べました。



来賓として、長野地本小林書記長と松本支部深石執行委員長より挨拶をいただきました。

長野地本 小林書記長からは

- 長野地本で10月に入り2名の組織拡大ができた。組合の必要性や組織を頼ってもらっての拡大となっている。まだまだ数の力では足りない。少数であるがどのように要求を勝ち取っていくか大事である。引き続き組織拡大を進めていく。
- 年末手当3.5ヶ月満額獲得に向け、東日本ユニオン全体での統一行動を推し進めていく。一人が一つではなく二つ・三つと声を集めていき、本部交渉団をしっかり後押ししていく。
- 地本では支部を休止し分会を中心とした組織のあり方を考えている。今後様々な会議等で議論を重ね、大会で承認を得て進めて行くが、組織をどのように強化していくかが大事である。



松本支部 深石執行委員長からは、

- 9月の支部大会で新たに執行委員長に選出された。
- 地本より支部休止の組織再編が提起されているが、松本支部は2024年9月からを予定している。予算関係や分会との関係、連合とのかかわりなど今後議論が必要になってくる。分会にも様々協力をお願いし進めていく。
- 本日(10/18)松本支部は「臨時事務所」を開設し、年末手当3.5ヶ月要求について議論を行った。満額獲得に向け分会とも協力して進めていく。



質疑・討論では組合員相互議論を行い、多くの意見が出されました。

- 年末手当3.5ヶ月要求と満額獲得に向けて。
 - 現場で苦勞している事に対ししっかりと出して欲しい。
 - 成績率の適用についてはどうなのか？
 - エルダーに対してもしっかり結果が欲しい。
 - 物価高騰分も加味してほしい。
 - 離職率が高い事や他企業でJRより高いところもある。
- 松本営業統括センター発足1年経過について。
 - どこの駅もお客さまが戻り最小人員でバタバタしている。作業に余裕がない。
 - 豊科駅の体制変更について。
 - 信濃大町駅で大系線沿線の受け持つエリアが広くて全てを見れていない。
- 今年の冬季体制について
 - ※出された問題点については、地本・支部と連携し解決に向け取り組んでいきます。



大会スローガン(案)、2022年度経過報告・決算報告・会計監査報告、2023年度運動方針(案)、予算(案)、新役員選出の承認を行い、木村書記長が総括答弁を行ったあと、最後に武田分会長の「団結ガンバロー」で新たな一年がスタートしました！



2023年度 松本地区分会 役員体制

役職	氏名	職場
執行委員長	武田 俊昭	塩尻駅
執行副委員長	柳澤 伸雄	松本駅
書記長	木村 辰彦	信濃大町駅
執行委員	野澤 秀高	松本駅
執行委員	関澤 亮	松本駅
執行委員	鈴木 博恭	塩尻駅
会計監査員	伊藤 雄介	松本駅



組織の拡大と強化、労働条件の改善に向け、全組合員で頑張ろう！